

平成27年度 学校自己評価システムシート (県立深谷高等学校)

目指す学校像	学力の向上、部活動の振興に重点を置き、地域から信頼される進学校を目指す。 文武両道の精神に基づき心豊かな生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 確かな学力を身につけさせ、志の高い生徒を育成する。 2 一人一人の個性を伸ばし、進路希望を実現させる。 3 規律ある態度を身につけさせ、他者を尊重する心を育成する。 4 部活動・学校行事を活性化し、活力のある学校にする。 5 地域との連携を強化し、信頼される開かれた学校にする。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	3名 1名 5名
-----	-------------------------	----------------

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	・生徒の学力と学習意欲の幅を考慮し、個々に対応した丁寧な指導を行う必要がある。	・学力向上と授業改善に取り組む。	①基礎学力の定着と大学進学に向けた高度な学力の育成のために習熟度別授業や特進クラス授業を実施し、個に対応した授業を実践する。その際、深谷高校としての目標値を共通認識する。 ②公開授業及び、教員間の授業公開 期間を設定するとともに、協調学習やICTを利用した授業の研修を進める。 ③地元の大学と高大連携を推進し、新しい連携事業を展開する。出前授業や大学での実習等により生徒の興味・関心を喚起する。	①成績優良者数の増加と成績不振者数の減少、深谷高校としての目標値についての研修と検討を行ったか。 ②職員研修、授業公開の実施状況 ③大学による出前授業、大学での実習の状況	①◇1・2学期末の全校生徒中の成績優良者(平均評定7.5以上)は230(H27)←218(H26)と5.5ポイント増。また、本年度2学期の欠点者数は1学期より1・2年で10名の減少となった。 ◇学ぶべき目標値についての検討は教科や学年、委員会での情報共有として行った。 ②授業公開の実施(校内:2週間、保護者等:2日) ③高大連携先大学(埼玉工業大学)へ伺い実習を行った(夏季休業中に2回4日7/28～31、70名参加)。	B	①成績優良者等の数は、年により変動するものであるが、同一の生徒集団がどう伸びたかを指標とした方策を立てる。その過程で、深谷高校のスタンダードを考えていく。 ②授業公開について、取組日数を継続する。 ③高大連携事業の継続と参加生徒の部活動等との両立を図りモチベーションを高揚させる。
2	・指定校推薦及びAO入試等への対応とともに、一般入試にも対応できる実力を養成する必要がある	・生徒の進路希望実現に向けた計画的な進路指導を実践する。	①特進クラスのニーズを把握するために生徒との意見交換会を実施し、柔軟な運営を行う。 ②土曜補習の充実、外部模擬試験の実施により意識を向上させる。 ③企業の求人開拓を積極的に行う他、地域の支援を受けて、就職希望者全員の内定を目指す。	①特進クラスの運営改善状況と進路状況 ②土曜補習への参加率 ③就職希望者の内定状況、地域との連携状況	①特進クラス生徒との意見交換会を実施し、ニーズの把握を行った。 ②土曜補習への参加率は昨年とほぼ同じ。 ③学校幹旋希望者の内定は100%。校長による市内各種団体の会議等への出席により連携を図っている。	A	①意見交換会や補習についてのアンケートを行い、生徒のニーズに合った指導を行う。アンケートについて範囲等について検討を行う。 ②土曜授業のみならず、平日補習も併せて参加率を向上させる。 ③引き続き地域とのつながりを育てる取り組みを行う。
3	・交通安全指導を含め、社会生活に関するルールやマナーを、家庭と連携し継続的に指導する必要がある。	・社会規範や安全等に関する指導を徹底し、他者を尊重する心を育成する。	①自転車マナーアップ推進校としての取組を進め、保護者と連携した交通指導等を実施する。 ②道徳教育推進協力校としての取組を進めるとともに、外部機関と連携し、「いじめ」「非行」防止教室を実施するとともに、インターネット等の危機意識、倫理意識を醸成し他者と協調する心を育成する。	①交通安全指導における保護者の参加状況。マナーアップ運動への取組状況。 ②道徳教育推進協力校としての取組回数、外部講師活用状況、及び人権教育への取組状況	①自転車のマナーアップ中心とした交通安全教室に生徒が参加し、学校での伝達講習を生徒主体で行った。保護者と連携した登校時交通安全指導を年2回6日間行った。 ②「彩の国の道徳」を年5回活用し、独自教材による取り組みも行った。外部講師による3回の講演でもそれぞれ人間としての在り方生き方・人権教育に及んだ内容で行われた。	A	①自転車のマナーアップ、交通安全への取り組みは、毎年欠かせないものであり、重要課題として継続して取り組む。 ②道徳教育推進協力校の実績をもとにしたノウハウの継承が求められる。
4	・多くの部活動が活発に活動している。 ・地域と連携した部活動支援体制及び広報の体制を継続する必要がある ・生徒会活動を中心として生徒が各行事に主体的に取り組む成果をあげている。	・部活動の支援体制の充実に取り組む、地域との交流活動を促進する。	①部活動の活動の維持向上と支援体制の充実。 ②外部指導者を積極的に取り入れ部活動を充実させる。 ③部活動や生徒会活動における地域との交流を促進し、その結果を広報する。	①活動支援の状況及び関東大会、全国大会への出場 ②外部指導者の活用状況 ③地域との交流状況と広報回数	①地域等からの大きな支援を得て、全国大会や関東大会で活躍した。 ②外部指導者にも恵まれ、部活動の活性化に大いに助けられている。地域の施設の協力もいただいている。 ③吹奏楽部による交流・広報活動は大きなもので3回に及ぶ(ライオンズクラブでの演奏、地域の公民館まつりでの演奏、深谷駅前壮行会での演奏)。	A	①引き続き、地域の支援を頂くことが必要である。 ②外部指導者からの協力体制を維持していく。 ③特定の部活にとどまらず、様々な場面での地域との交流を求めていくことが、学校活性化につながる。
5	・学校説明会や授業公開等での保護者や地域の人々の来校者をさらに増やす工夫が必要である。 ・学校の教育活動を積極的に発信し、様々な広報活動を通じて、それを生徒募集に結びつける必要がある。	・教育活動の情報発信を充実する。	①授業公開や学校説明会等の回数を維持するとともに内容を充実させる。 ②学校ホームページを積極的に更新するとともに、「ふかこう通信」の他伝達手段を開拓して地域への情報発信を行う。 ③中学校訪問を拡大・充実し、中学との連携体制を発展させ、さらに信頼される学校づくりを行う。	①授業公開及び説明会等の実施回数の維持及び来校者数の増加 ②学校ホームページの更なる充実と学校通信を利用した地域への情報発信状況 ③中学校訪問状況と本校志望生徒数の増加	①授業公開、学校説明会の実施回数は昨年と同数を維持。来校者は学校説明会でやや増加した。 ②学校ホームページの更新回数は約1000回に及び十分な成果である。 ③全職員による中学校訪問状況は、目標通り昨年度と同じ年2回を実施。本校への中学生の希望数は10・12月調査とも昨年度を僅かに下回った	A	①昨年度の状況を維持した来校者の増加を引き続き目指す ②学校ホームページの更新、広報「風さやか」の改善等広報活動については十分に達成しており、この状態を維持したい。 ③広報活動も目標通り行った。着実な広報を積み重ね、志願数の増加につなげたい。

学校関係者評価
実施日 平成 28 年 2 月 17 日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・昨年度に引き続き評議員を引き受けているが、成績優良者の増加や成績不振者の減少など成果が出ている。学力向上に向けて今年、特に力を入れたことを今後も生かしてもらいたい。</p> <p>・高大連携を通じて興味関心を持ったり、自分の進路を見つけたりした例もあり、今後も高大連携事業の継続は必要である。</p> <p>・本シートの達成度評価については、Aでもよいのではないかとのご意見も頂いたが、概ね賛同頂いた。</p> <p>・先輩たちの実績を生かした進学も、進路決定の一つの形として良い形である。今後も指導を継続していただきたい。</p> <p>・一方で、指定校枠拡大にもつながる一般入試での進路指導も無くてはならない。</p> <p>・生徒の学校幹旋での就職率100%を維持している取り組みが評価できる。その指導を続けていたいただきたい。</p> <p>・本シートの達成度評価について、賛同頂いた。</p> <p>・生徒指導面では、落ち着いてきているということであり、指導を続けていただきたい。</p> <p>・自転車のマナーアップについては引き続き取り組みが必要であるとのことであるが、具体的に何が必要かを確認し、効率的に取り組むとよいのではないかと。</p> <p>・本シートの達成度評価について、賛同頂いた。</p> <p>・創立以来43年経っているが、その間の学校の変化も把握して、一層、地域の信頼を獲得し行っていただきたい。</p> <p>・部活動や生徒会の活動が盛んであり、今後とも継続していただきたい。</p> <p>・本シートの達成度評価について、賛同頂いた。</p> <p>・地域から信頼され選ばれる学校であるよう、今後とも継続して広報やさまざまな教育活動に取り組んでいただきたい。</p> <p>・ホームページの更新や広報活動が継続的に続けられる仕組みが構築できていることは評価できる。今後とも継続していただきたい。</p> <p>・本シートの達成度評価について、賛同頂いた。</p>